

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成27年7月30日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府城陽市奈島生口18番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 黒川ダイドウ株式会社 代表取締役 杉本徳行
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	KES・環境マネジメントシステム・スタンダード'✓
適 用 範 囲	登録組織全域における綿布の染色整理加工の全ての事業活動
導 入 年 月 日	2014年3月1日
認 証 番 号	KES1-1320 ✓
基 本 方 針	染色整理加工に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減するために、環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指す。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	(1)、ガス原単位前年比1%削減 (2)、排水量原単位の前年比1%削減 (3)、生産不良率2.2%以下
目標を達成するための取組の内容	目標について進捗状況・結果を省エネルギー委員会にて確認・検討し評価を行う。不適合の場合はその内容と原因を追究し修正対策を施す。結果については全従業員に対して掲示等を通じて周知徹底を図る。また3か月に1度最高責任者評価を行う。
目標を達成するための取組の進捗状況	目標が達成できなかった場合は省エネルギー委員会において原因を分析し対策を施している。その結果について翌月の委員会で確認している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	目標についていろいろ対策を講じた結果省エネの効果はでている。但し目標数値については非常に達成が困難な項目もあり、対策をすれば達成可能な数値目標とした項目もある。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令等において指摘されるような内容はなし
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムを導入したことにより省エネ等の効果と従業員の意識は向上している。目標に関して項目は前年度と同じであるが、数値目標については1年間実施して対策を施せば達成可能な数値に見直した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。